

さがみはら

第41号

市史編さんだより

2008.3.1

地域ごとに特色のある、どんど焼き ～民俗部会の市内巡検～

2008（平成20）年1月14日（月）、寒風の中、民俗部会の市内巡検を行いました。今回は橋本・淵野辺地区の巡検と市内各所で行われる、どんど焼きの行事を見学しました。

当日、成人式が行われたグリーンホール相模大野を午前10時に出発し、当麻地区へ。まず、団子飾りをしてあるお宅へ伺い、拝見させていただいた後、少し離れた日枝神社に向かい、どんど焼きを見学。集められた正月飾りへの点火から、持ち寄られた団子が焼かれる様子までを見ることができました。

昼食後は、橋本地区の神明大神宮で、正月飾りのお焚きあげと、団子焼きを見学した後、香福寺、瑞光寺、蓮乗院を回り、宮下本町にある天縛皇（てんぱくこう）神社に向かいました。こちらでもどんど焼きが行われており、点火の際には神事を執り行うとのことで、詳しいお話を伺うことができました。

次に、でいらぼっち伝承のある鹿沼公園を経て、淵野辺地区の日枝神社のどんど焼きを見学しました（写真）。

どんど焼きは日枝神社から少し離れた境川沿いの広場の一角で行われますが、正月飾りの積み方に特徴がありました。

巡検の最後は、古淵地区の鹿島神社裏手で行われたどんど焼きです。ここでは、お焚きあげする正月飾りを覆う「お仮屋」を作り、そのすぐ隣にもお焚きあげする別の正月飾りを積むという特色あるものでした。

あたりはすっかり暗くなってしまいましたが、その後、ご厚意で個人宅の団子飾りを拝見し、団子飾りにまつわるお話しも伺うことができました。

今回、マイクロバスの車窓からは神社、こどもセンター、児童館などの一角で行われているどんど焼きの風景も見ることができ、地域ごとの特色を知る充実した市内巡検となりました。



市民とともに～石造物・景観調査～

文化遺産部会では、各公民館の協力を得ながら、平成 20・21 年度の 2 年間をかけての「石造物と景観の調査」を検討してきましたが、その概要が固まってきました。

今回の石造物の調査は、石仏などの信仰関係ばかりでなく、記念碑なども対象とする点で、初めての悉皆（しっかい）調査になります。また、景観調査は、公民館区ごとにそれぞれ 50 地点程度を選び写真で残すというもので、現在の相模原の姿を切り取って保存し、次世代に伝えようとするものです。

具体的には、4 月から 6 月にかけて、ボランティアの調査員を募集し、説明会の後 9 月頃から調査に入ります。翌年の 3 月までに終了という日程で、旧相模原市内を対象に各公民館区ごとに調査チームを作り行います。

この調査は、多くの市民の皆さんに協力をいただかなければできません。ぜひ多くの方に御応募いただきたいと思っています。募集は「広報さがみはら」や各「公民館報」で、4 月から 6 月にかけて行います。

歴史的公文書の保存・活用についての研修を開催

平成 20 年 1 月 31 日（木）に、市の職員を対象とした職場専門研修『歴史的公文書の保存・活用と公文書館』を開催しました。市史編さん室の職員が講師となり、各部署から参加した約 80 人の職員に、日本と諸外国の公文書館の現状、公文書館の役割、どのような過程を経て現用の公文書が歴史的公文書として保存されていくのかについての講義を行いました。また、アメリカの国立公文書館に保存される相模原関係の資料も紹介しました。



市史編さん室では、歴史的公文書保存の意義について理解を深めるために、今後もこうした内部研修を行っていく予定です。

相模原市史関係の刊行物を販売しています

お求めは、市史編さん室・市立博物館・各行政資料コーナーへどうぞ。なお、送料実費負担で配送もいたします。詳しくは市史編さん室ホームページに掲載しています。（※相模原市史ノート第 2 号は販売終了です）



刊行物名	価格	大きさ・ページ数	刊行時期
相模原市史現代図録編	1,500 円	A4 判・296 ページ	平成 16 年 11 月
相模原市史第 1～7 巻	各 1,900～4,500 円	A5 判・598～842 ページ	昭和 39～47 年
相模原市史ノート創刊、3、4 号 ※	各 350 円～600 円	A5 判・102～127 ページ	平成 16 年～毎年 3 月
旧石器時代遺跡資料調査報告書	1,400 円	A4 判・57 ページ	平成 19 年 3 月

市史編集委員会を開催

平成20年1月23日（水）に、今年度第2回目の編集委員会を開催しました。

会議では、昨年8月以降の市史編さん事業の実施報告の後、今月末に刊行予定の相模原市史続編『現代資料編』について、担当された委員及び事務局から内容の説明が行われました。資料の選択・収集・整理方法、今後刊行予定の現代通史編・テーマ編に向けての課題などについて、熱心な討議が行われました。

また、来年度刊行予定の『自然編』の作業の進ちょく状況や、『文化遺産編』に関連した石造物・景観調査の計画についても話し合われました。

市史編さん審議会を開催

平成20年1月26日（土）に、今年度第2回目の審議会を開催しました。

会議では、昨年8月以降の市史編さん事業の実施報告の後、『現代資料編』について事務局から内容の説明が行われました。『現代資料編』で扱う資料は委員の方が実際に過ごしてきた時代のものも多く、いつ頃までの資料を扱うのか、どのような内容の資料を掲載するのか、どのような装丁で作成されるのか、有償で市民に頒布される数はどのくらいかなど、活発な質疑が行われました。

市史講演会を開催します

「日本歴史の中の相模原—前近代を対象に—(3) 近世における三つの問題」

日 時：平成20年3月22日（土曜日）午後2時～4時
（開場は午後1時30分）

会 場：相模原市立博物館大会議室
（高根3-1-15／横浜線淵野辺駅下車徒歩20分）

講 師：神崎 彰利（市史編さん室特別顧問・写真）

内 容：日本近世史の中で相模原の特色である

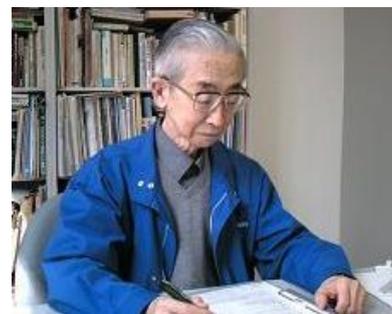
（1）近世前期の所領設定、（2）土地制度、（3）天保改革の上知令

以上の3点についてその実例を紹介し、相模原の歴史性を検討します。

定 員：200名（当日先着順）

聴講料：無 料

対 象：どなたでも参加できます





編さん室の動き（1月～2月）

月	日	内 容
1	4	市史編さん室仕事始め 「市史編さんだより第40号」発行
	8	保存文書に関わる打合せ会議に出席(市役所)
	14	民俗部会市内巡検(1ページに関連記事)
	19	近現代部会開催
	23	市史編集委員会開催(3ページに関連記事)
	25	考古編資料化作業写真撮影
	26	市史編さん審議会開催(3ページに関連記事)
	31	職場専門研修開催(2ページに関連記事)
	随時	現代資料編の編集作業(校正等)
2	6	近現代編資料調査(国立国会図書館、県政情報センターほか)
	7	秋田市文書企画課職員が視察に来室
	8	資料の寄贈に関わる打合せ会議に出席(図書館)
	14	神史協研修会に参加(県立公文書館)
	23	近現代部会開催
	随時	現代資料編の編集作業(校正等)

新刊予告 相模原市史続編『現代資料編』

2008(平成20)年3月末刊行予定

戦後の相模原を明らかにする文書資料等を収録。販売場所・価格等、購入に関する詳細は次号の市史編さんだより(第42号・5月1日発行予定)などで御案内します。

「さがみはら市史編さんだより」第41号

発 行 2008(平成20)年3月1日

編 集 相模原市総務局総務課市史編さん室

〒229-0021 神奈川県相模原市高根3-1-19(市立博物館隣り)

TEL 042(750)8025 / FAX 042(750)8039

E-MAIL : shishi@city.sagamihara.kanagawa.jp

ホームページ : <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp> (相模原市トップページ)

(市のプロフィール⇒市史編さんについて、または観光・文化⇒市史編さん の順でご覧になれます。)